

との を開催



若者と議会がつながるまちへ「まちづくりについて、議会に言いたいこと」をテーマに、青年団体等と議会議員との意見交換会を2月10日、議会議事堂で開催。青年団体から14人が参加し、ワークショップ形式で4チームに分かれ、チームごとに意見をまとめた発表では、町政や議会に対するさまざまな意見・要望が出され、有意義な意見交換会となりました。

津別町議会では、町政や議会に対する町民からの声を聞く場を設けながら、身近で開かれた議会となるよう取り組んでいます。

今回は、町内で活動されている青年層を中心とした団体、サークルの方々と、普段感じている町の現状や将来に対する思いなど、まちづくりや議会への関わりなどについて意見交換を行い、今後の議会活動に生かしていくため開催しました。

アドバイザーとして、新潟県立大学国際地域学部准教授田口一博氏から、話題提供を受けた後、誕生日順に4チームに分かれ、ワークショップを行いました。ワークショップでは、第1ワーク「まちづくりについて、言いたいこと」、第2ワーク「議会について」をテーマに、さまざまな意見を出し合い、1番重要だと思ふものをそれぞれまとめ、各グループからの発表の

後、田口氏から講評が行われました。

田口アドバイザーからの 話題提供

田口氏

今日は、議会と同じように、皆で話し合っただけからの町のことを考える会なので、いろいろな考え方があって良いと思います。出された意見は、否定せず、そういう考え方もあるんだと思ひ、こんな町にしたいなということも話してもらいたいです。まちづくりや新しくできる図書館についてなど、具体的でも抽象的でもどのような話でもいいです。町だけでは決められないこともありますが、それは議会の中で考えていくので、普段、町や生活について思っていることやこうして欲しいということをお話してください。

各グループからの 発表

夏組

津別町に移住・定住してもらうために、まず来てもらうことが第一で、大きな施設を建てて呼び込んだり、津別町でしか取れない認定証や資格を作るなど、何度が来てもらううちに住みやすそうな町だな、住んでみたいと思われるようにしてはどうか。

また、飲食だけではなく、サブイバルゲームなどの面白いイベントを行ったり、クマヤキサブレに自分でデコレーションをするなど、津別町でしか買えないものを作れば良いのではないかと。

議員のなりて不足の話があるが、議会を身近に感じてもらうことや町政を担う次世代を担うような人たちを育てたいのであれば、講座や模擬議会などを行い、広報で周知してはどうか。

春組

スポーツが盛んで強い町、農業、子育て、飲食店が充実しているなど魅力的な町にすることで、知名度も上がり、人口増につながるのではないかと。議会では、議員との交流の場が少なく、どのような仕事をしているのか見えてこない

ため、SNSなどでも発信してほしい。また、議会報は堅い文章が多いため、読みたくなくなるような工夫した紙面にすることで、皆が政治に参加しやすくなると思う。



秋組

人口がこれ以上減らないように、特に、子育て世代に特化した政策をしてほしいという意見が出たが、津別町は子どもの医療費がかからないなど手厚くしてくれている。それでも人口が減っていく一方なので、それ以外の要因があるのではないかと。男性が働く場がないということもあるが、女性の働く場をつくるため、大きな会社や工場などを誘致してはどうか。津別高校が定員割れで人数が少ない現状である。自分の子どもに農家を継いでほしいという気持ちは



アドバイザー 新潟県立大学国際地域学部
准教授 田口 一博 氏

「青年団体等」 意見交換会

あるが、子どもが津別町に住んで、結婚して、子育てをするときに、もし、通う学校や病院がなくなった場合、胸を張ってこの町に住んでほしいと言えるのか。10年後、20年後も、今と同じレベルのものがあつたら良いと思う。

議会に対しては、何をやっているのか、議会報を読むくらいであまり詳しくわからなかったため、町民一人一人が議会に対して関心を持つことが大事ではないか。

冬組

住宅の整備や特産品の開発を進めて楽しい町にすることが大事だと思う。町は、住宅整備に取り組んでいるが、自分が以前、住宅を探したとき、町営住宅などの空きがなかったため、町外に住むことも考えた。たまたま物件が見つかったが、津別町に住みたいと思う人がたくさんいる中で、住宅が見つからないことはもったいないことだと思う。人口減少の中、大変な課題だと思いが取り組んでほしい。特産品では、クマヤキの知名度が上がっているが、第2の特産品として、津別産の農作物を使った加工品を開発し

て知名度を売り込んでいくことが重要ではないか。民間だけでは難しいため、議会と意見交換を重ねながら情報公開していく必要があると感じた。

議会に対しては、勉強不足で、普段どのようなことをしているかわからないが、住宅や自分の生活に直結することと何か困ったことがあつたときに、議会に関心が湧いてくるのではないか。議員のなりてについて、議会のハードルを下げるため、兼業ができるような仕組みづくりや会社の理解、社会の空気づくりが必要だと思う。また、このような意見交換会が1回限りではなく、毎年開催するなどし、今回出された意見が1年後にどう町政に反映したのかを発表してもらえれば、自分たちの声を聞いてくれたんだと思いい、議会にも関心が湧く一因になると思う。

田口アドバイザーから 講評

田口氏

全てのグループから出された意見で、津別町が条件不利地域だと思つているということが意外でした。津別町は、空

港から20分で来れる所にあるので超優良物件なんです。荷物を運んだりするにはすごく便利なところで、女満別空港にはまだ余力があります。条件不利地域だと思わないことが、まず出発点だと思います。

津別町には働く場がたくさんあるのに、町外から通っている人が多くいます。住む所がないと全グループから意見が出ていたが、そう言いながらも、結構空き家があるんです。つまり、そこを結ぶ人がいないんです。議会と不動産家と地域を結ぶことができれば、比較的簡単にできるはずなんです。買わなくても住める場所を町内にいくつも作っておくということが必要だと思います。条件が有利で働く場があるのに、住む場所がないから、町外から通っているということを改善するのが大事だと思います。

また、特産品について、新たに特産品を開発するのではなく、今あるものが津別の物だということを認識できれば良いと思います。津別の名前がまだ知られていないので、玉葱スープに津別の玉葱です、と書いてもらうなど、津

別の名前を上手に付けることが良いのではないのでしょうか。 サバイバルゲームの意見があつたが、マイナス20度の中で丸太乗りをして、20キロ走つたら認定証を渡すというのは大変面白い。団体などに監修してもらうというのも良いでしよう。

スポーツについては、大学チームとのふれあいの場をもっと提供するなど、もう少しスポーツの町ということをやつても良いと思います。

学校や病院の数は、今の人口からいっても十分な方です。広域で町外にあつて利用が可能という良い情報を発信するなど、マイナスのイメージにならないよう情報発信の仕方に気を付けることが大事です。 議会に対して強い不満がないということは、町政はうまくいっているということです。これから議会がやらなければいけないことは、情報を知ってもらうということを生懸命やるべきだと思います。何かあつた時に話せる議員が近くにいることや、今日の結果についてフィードバックすることは必死にやしてほしいと思います。

「議会報告会」 意見交換会を開催



第8回目となる議会報告会を2月11日午後1時から、役場健診ホールで開催し、21人の参加の中、議会の役割・構成・各常任委員会・全員協議会などの開催状況を報告し、町政や議会に対するさまざまな意見・要望が出され、有意義な意見交換会となりました。なお、寄せられたご意見等を次のとおり項目ごとに整理しました。

新給食センター整備 基本計画について

参加者の意見

新学校給食センター整備基本計画について、新築で計画しているが、広域組合で共同で行うという議論はされなかったのか。今後、子どもの数が減っていく中で将来的な負担を考えると、広域組合を利用した方が良いのではないか。

議会の回答

議会では広域で行うことについての議論はしていませんが、今後の児童数の変化とともに、どのような配食になるのか検討はしています。まだ、基本計画ができた段階のため、よりよい給食センターづくりに向けて、一層議論を深めていきたいと思えます。

大通・幸町地区「ミニ 二テイ施設整備事業」 について

参加者の意見

建設資材の高騰などにより、事業費が大幅に増額されると思うが、全体の事業費は把握しているのか。また、ドラッグストアを整備するにあたり、現時点において、国の補助金が対象になるのか。そのことについて、どのような議論がされているのか。

議会の回答

大幅な原材料や燃料の高騰などにより事業費が増えています。また、全体の事業費については、議会としてもつかみきれないままです。幸町棟は、令和3年度の町民懇談会で示された事業費を予定とし、内閣府の交付金が該当すると聞いていますが、令和5年度に議論していきたいです。

参加者の意見

大通棟の施設の維持管理について、スーパの暖房は、エアコンの冷暖房を使うとのことだが、経過を聞きたい。

議会の回答

建物全体はチップボイラーの熱源で暖房を取るようになっていますが、スーパは温度のコントロールが難しく、微妙な調整をしなければならぬため、エアコンの暖房を使用する予定です。

障がい者の雇用に ついて

参加者の意見

障がい者の雇用状況について知りたい。

議会の回答

手をつなぐ育成会も行っている障害者就労継続支援事業で、津別や北見、美幌の事業所に通っている障がい者は約20人と聞いています。障がい者福祉計画は、令和5年度が見直しの時期のため、北見地域定住自立圏で障がい者の雇用状況について、各事業所への調査を行っています。町は、その結果をもとに、計画策定年の中で具体的な対策をしていきたいと思っています。

その他の「ご意見・ご要望」

参加者の意見

・ランプの宿の維持費（指定管理料）が年間で1千800万

議会報告会アンケート より

円かかっているため、将来にわたり重荷にならないよう対策をしてほしい。
・若い人が定住できるように、住宅建設の助成をもう少し増やした方がよいのではないか。
・高齢者施設や福祉施設で働く人材を確保するため、介護資格者採用の補助を行っているが、拡大する必要があるのではないか。

・「町民の代議士として活動しているところを各媒体（SNSなど）でPR」して、地方議員のなりてが少ないなどの全国的な課題に負けない議会であってほしい。

・まちなか整備事業について、もっと詳しく正確な情報を出してほしい。

・「核のない平和なまちづくり」など、町議会として声明したことも報告会で紹介し、町民にアピールしてはどうか。良い声明・決議なので、ぜひ町民・町外に知っていただきたい。

委員会活動

総務文教常任委員会

第1回（2月24日）

- ・オホーツク町村会公平委員会委員の選任について
- ・個人情報保護に関する法律施行条例の制定について
- ・情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について

第2回（3月1日）

- ・公共用地取得について（つべつグレステンスキー場）
- ・学校給食費について
- ・委員長の互選について
- ・副委員長の互選について

産業福祉常任委員会

第1回（2月24日）

- ・高齢者等緊急通報システム事業の実施に関する条例の制定について（全部改正）
- ・家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ・令和5年度各会計予算原案の概要について
- ・図書館建設検討委員会設置条例を廃止する条例の制定について
- ・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

- ・国民健康保険条例の一部改正について
- ・国民健康保険税条例の一部改正について
- ・大型免許等資格取得支援事業実施要綱の制定について
- ・町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について

- ・公の施設に係る指定管理者の指定について（つべつグレステンスキー場）

常任委員会

- ・簡易水道事業の設置等に関する条例の一部改正について
- ・契約の締結について（下水道管理センター機械設備改

築更新工事）

- ・契約の締結について（下水道管理センター電気設備改築更新工事）
- ・農業委員会委員の選任について

- ・産地生産基盤パワーアップ事業について
- ・農業新規参入者誘致条例の一部改正について

- ・起業等振興促進条例の一部改正について
- ・共和町有地の取得について
- ・公の施設に係る指定管理者の指定について
- ・令和5年度各会計予算原案の概要について

第2回（3月1日）

- ・委員長の互選について
- ・副委員長の互選について

議会広報常任委員会

第2回（2月17日）

- ・全員協議会チラシの編集について

第3回（2月27日）

- ・第2回臨時会チラシの編集について

第4回（3月1日）

- ・委員長の互選について
- ・副委員長の互選について

第5回（3月23日）

- ・全員協議会チラシの編集に

について

- ・第6回（4月12日）
- ・議会報189号の編集について

議会運営委員会

第1回（1月23日）

- ・第1回津別町議会臨時会の運営について

第2回（2月14日）

第3回（2月17日）

第4回（2月17日）

第5回（2月20日）

第6回（2月21日）

- ・第2回津別町議会臨時会の運営について

第7回（3月1日）

- ・委員長の互選について
- ・副委員長の互選について
- ・第3回津別町議会定例会の運営について
- ・意見書等の取り扱いについて

- ・議会の個人情報保護に関する条例の制定について
- ・議会の個人情報の保護に関する条例施行規程の制定について

第8回（3月9日）

第9回（3月16日）

- ・第3回津別町議会定例会の運営について
- ・追加議案の取り扱いについて

町長行政報告

報告された事項

第1回臨時議会（1月23日）

- 北海道社会貢献賞の受賞
- 令和5年成人式
- 水道管折損による漏水事故

第2回臨時議会（2月17日）

- 北海道知事の来町
- 株式会社myふなばし代表取締役 山崎健太郎氏の来町

第2回臨時議会（2月22日）

- 網走観光ホテル重油漏れの早期解決に向けた北海道への要請
- 令和4年度北海道産業貢献賞の受賞
- 車いすカーリング世界選手権大会への出場

第3回定例会（3月7日）

- 空き家対策総合支援事業補助金の返還の確定

議会日誌

1月

- 23日 第1回議会運営委員会
第1回津別町議会臨時会
第1回全員協議会

2月

- 1日 遠軽町議会行政視察
- 9日 第2回全員協議会
- 10日 青年団体等と議会議員との意見交換会（津別町）
- 11日 議会報告会（津別町）
議員研修（津別町）
- 14日 第2回議会運営委員会
- 15日 北海道町村議会議長会正副会長会議・理事会・公務災害補償等組合定例会・北海道知事と議長会理事との懇談会（札幌市）
- 17日 第3回議会運営委員会
第2回津別町議会臨時会
第4回議会運営委員会
第2回議会広報常任委員会
- 20日 第5回議会運営委員会
オホーツク町村議会議長会役員会・定期総会（遠軽町）
- 21日 第6回議会運営委員会
- 22日 第2回津別町議会臨時会
- 24日 第3回全員協議会
第1回総務文教常任委員会
第1回産業福祉常任委員会
- 27日 第3回議会広報常任委員会

3月

- 1日 第2回総務文教常任委員会
第2回産業福祉常任委員会
第4回議会広報常任委員会
第7回議会運営委員会
- 7～8日 第3回津別町議会定例会
- 9日 第8回議会運営委員会
- 14～17日 第3回津別町議会定例会
- 16日 第9回議会運営委員会
- 23日 第5回議会広報常任委員会
- 27日 北海道市町村振興協会臨時評議員会（札幌市）
- 29日 二水郷との友好都市提携調印式（WEB）

4月

- 12日 第6回議会広報常任委員会

議会の録画映像を配信しています

インターネットを利用した定例会の録画配信を行っています。

町のホームページにアクセスしてご覧ください。

※「YouTube」による配信です。



QRコードからも
アクセスできます。



はぐるま

私たち議員は任期の折り返しを迎えた令和5年、まちなか再生事業という津別町有史来の最重要事業に直面している。地域にどうしても必要な事業なのかどうかを町民の皆さまと共に考えてきた。今振り返ると再生という言葉に感わされた感がある。

20年、30年先を読むことは難しい。しかし、失敗は許されないことは誰しも分かっている。影響を受けるのは子どもたちや、これから生まれてくる子どもたちであるからである。

議会の自主研修として、初めて若い世代のグループと意見交換会を実施した。「議会に言いたいこと」と題して、活発で熱のこもった提言や指摘をいただいた。津別を想う若者の言葉は重かった。地域で現状を打開し、変化させた熱い想いをもっている。

新潟県立大学の田口准教授を招いての意見交換会は議会として取り組んできた課題解決にひとつ近づいた。地方創生政策がスタートし、地方自治体は地域の特性を活かせるか、住民の生活を将来とも守れるか。（山内）

